

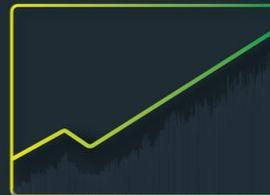


CoinGecko

# Quarterly Report

# Q2 2020

PART 1



# マーケット動向

# マーケット時価総額が着実に上昇する一方で、取引高は減少

# +44.5%

2020年第二四半期の  
時価総額の上昇

2020第二四半期、マーケット全体の時価総額は**44.5%上昇**、一方で現物の取引高は**55%の下落**を記録。

歴史的に、時価総額と現物取引高は高い相関関係にあった。しかし2020年第二四半期になり、そのトレンドは変化している。

そのようなトレンド変遷の理由としては、長期保有傾向の高まり・3月のBlack Thursday以降のマーケットの自信喪失・分散型金融 (DeFi) 及びデリバティブの活発化などの要因が考えられる。

### トップ30通貨の時価総額& 現物取引高



## トップ5通貨のリターン

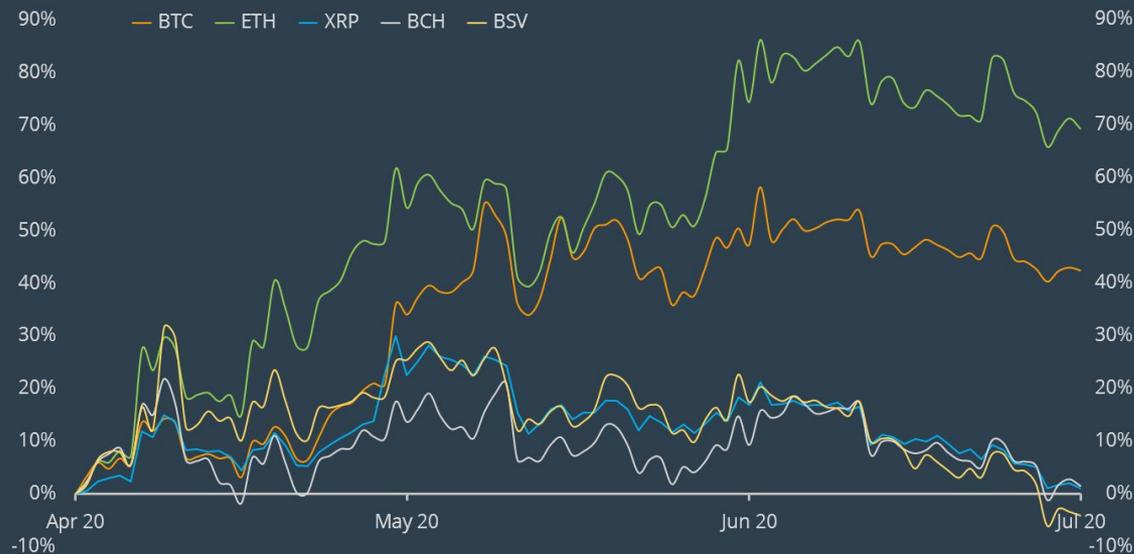
## ビットコインとイーサリアムが成長を牽引、その後は停滞

**+22.0%**2020年第二四半期  
トップ5通貨のリターン平均

第二四半期はETHとBTCにとって素晴らしい期間だった。イーサリアムは最大の勝者となり(+69.3%)、ビットコインはそれに次ぐ成長(+42.5%)を見せた。

XRPとBCH、BSVは遅れを取っており、わずかな利益又は損失を生むだけに留まり、第二四半期を終えた。

トップ5通貨のリターン平均

 **+42.5%** **+69.3%** **+1.0%** **+1.5%** **-4.1%**

## トップ30通貨のマーケットシェア

イーサリアムのマーケットシェアは1.6%上昇

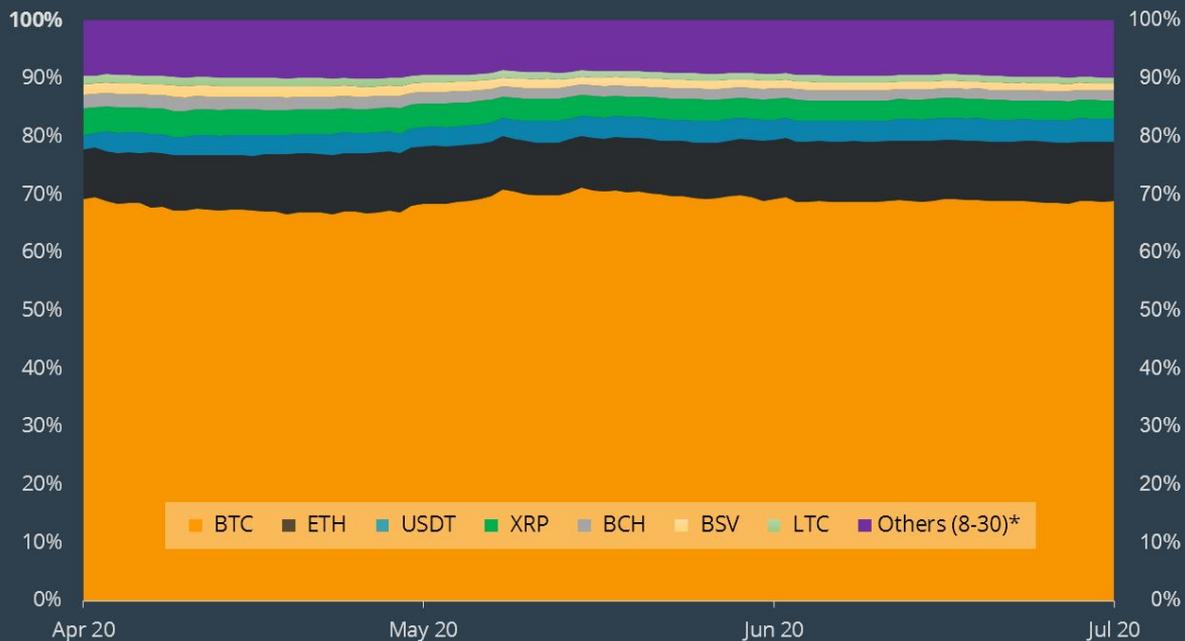
## 2020年第二四半期のマーケットシェア

(2020年第一四半期と比較 %)



2020年第二四半期、イーサリアムのシェアは**+1.6%**成長し、ビットコインを**+0.3%**上回って、再び最大の勝者となった。

トップ30通貨のマーケットシェアチャート



<sup>1</sup>Others (8 - 30) とは、7月1日時点のCoinGeckoの時価総額ランキングでトップ ~ 30の通貨を意味する。

ビットコイン価格は3月のBlack Thursdayより78%上昇。5月以降は安定を続ける。



ビットコインの第二四半期は3月のBlack Thursdayの底値より**78%**上昇し終了

ビットコインはBlack Thursdayから完全に**回復**を達成するまで、**48日**の時間を要した。

しかしながら、ビットコインは未だ2020年の最高値(\$10,328.90)を超えているわけではない。

第二四半期のビットコインの平均取引高は、第一四半期と比較して**20%低い**。

# ビットコイン3度目の半減期



## ビットコイン半減期

## 2020年の半減期後の50日間、ビットコイン価格は5%上昇

## 半減期以前/以後のビットコイン価格



## ビットコイン3度目の半減期(2020)

半減期以前の50日間、BTC価格は**50%上昇**。  
半減期以後の50日間、BTC価格は**5%上昇**。

## ビットコイン2度目の半減期(2016)

半減期以前の50日間、BTC価格は**11%上昇**。  
半減期以後の50日間、BTC価格は**9%下落**。

2020年の時価総額は2016年に比べ**15倍大きい**にも関わらず、3度目の半減期の最中、ビットコイン価格はより強気な変動を見せた。

2020年5月11日、ビットコインは3度目の半減期を通り抜け、マイナーのブロック報酬は1ブロックあたり12.5BTCから6.25BTCに半減した。

## ビットコイン半減期

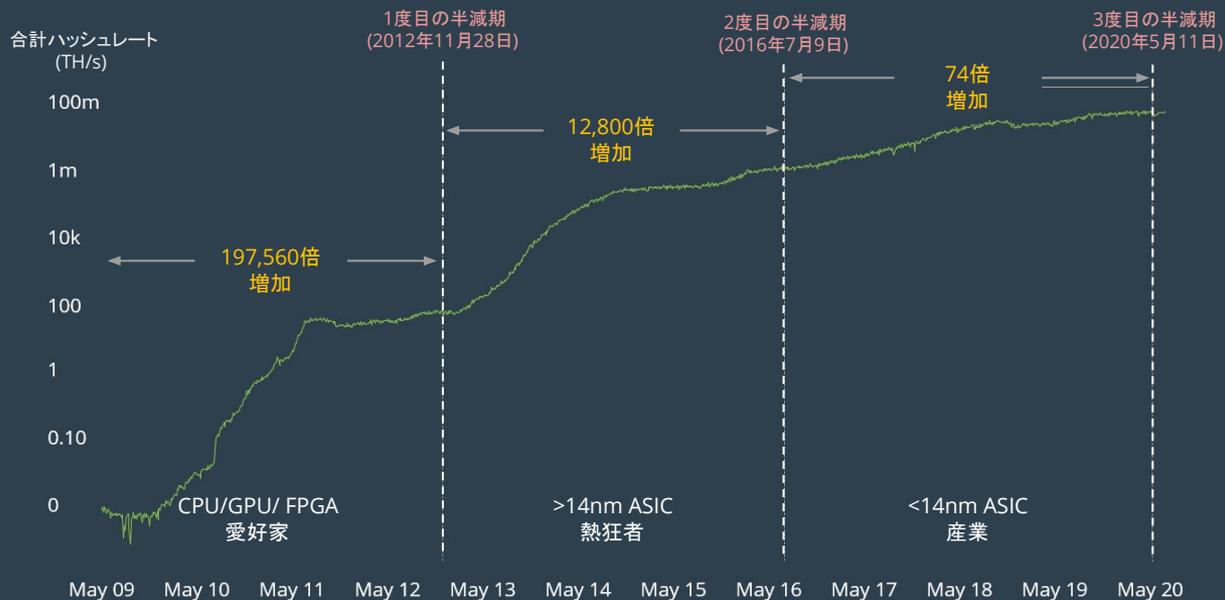
# ビットコインマイニングは年を経るにつれ産業化

ハッシュレート(H/s)は、マイナーが1秒間にハッシュ計算を行うスピードを意味する。世界中のマイナーが宝くじに当選しブロック報酬を勝ち取るために、ハッシュ競争に参加している。

より多くのマイナーが規模と効率性を高続けているため、ビットコインのハッシュレートは**指数関数的に上昇**している。年々、マイニングはCPU/GPU/FPGAからASICを使う方向へとシフトしており、本格的にASIC産業化を遂げている。

ビットコイン報酬という経済的インセンティブを求めて、マイナーは半導体チップセットの性能を向上させ続けている。今日のマイナーは、全てのオペレーション(エネルギー、ロジスティクス、規模など)を最適化する必要がある。

### ビットコインの合計ハッシュレート(TH/s, 対数目盛)



# ビットコインのハッシュレートは半減期直後に27%下落するも、第二四半期末には回復

2020年の半減期直後、ビットコインのハッシュレートは**27%**の下落を見せた。

ブロック報酬の半減により、古いASICを用いるマイナーは赤字に追い込まれた。これらのマイナーが運営を停止したことが、このハッシュレート下落の主要因だ。

利益を求め、いくつかの古参マイナーはビットコインからBitcoin Cash(BCH)やBitcoin SV(BSV)などのSHA-256モデルの別ブロックチェーンに移行した。

中国国内のマイナーが四川省への移転に際してマイニングをストップしたのも、半減期直後のハッシュレート下落の理由の一つだ。これらのマイナーは、四川省の水力発電が超過し電力が安くなる雨季に乗じて移動を行う。

2019年12月、四川省は世界全体のマイニング市場のシェア54%を占めていた。

合計ハッシュレート(TH/s)



### 半減期の間、平均トランザクション手数料は6.5倍増加

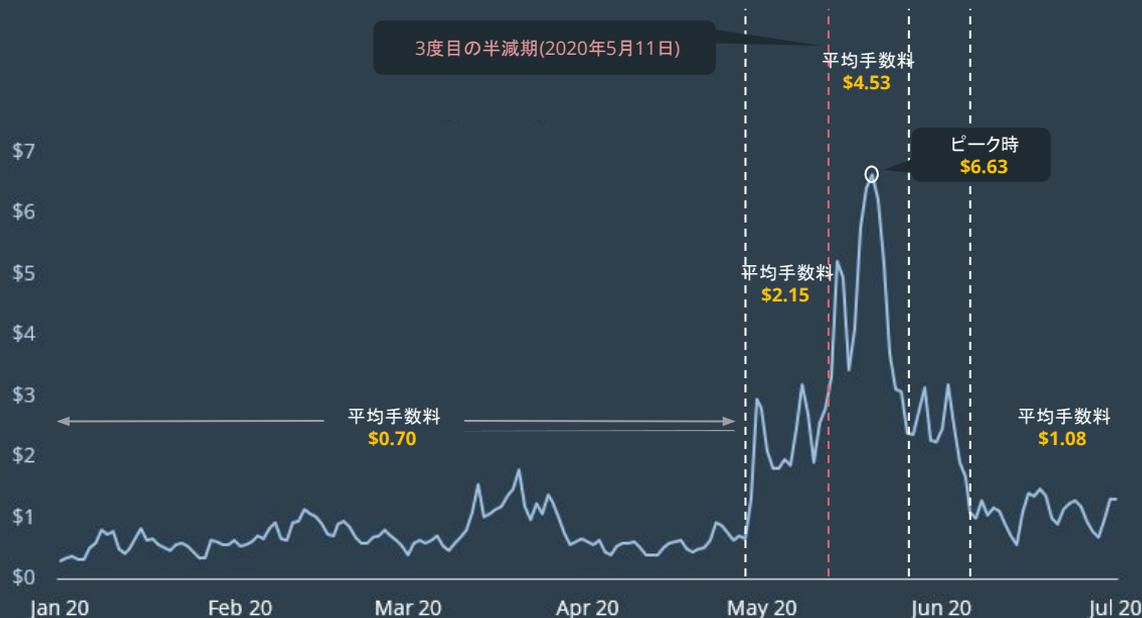
半減期以前から直後までの期間、**ビットコインの平均トランザクション手数料は増加**を見せた。

半減期前の2週間、平均トランザクション手数料は1~5月の平均(\$0.70)と比べ**306%高かった(\$2.15)**。

半減期の最中、平均トランザクション手数料は1~5月の平均(\$0.70)と比べ**647%高かった(\$4.53)**。

半減期後の平均トランザクション手数料は\$1.08にまで下落したが、依然として1~4月の平均よりは高いままである。

平均ビットコイントランザクション手数料(USD)



# ステーブルコイン



## トップ5のステーブルコインの取引高

ステーブルコインの取引高は先細りする一方、供給量は増加の一途を辿る

# +\$3.65B

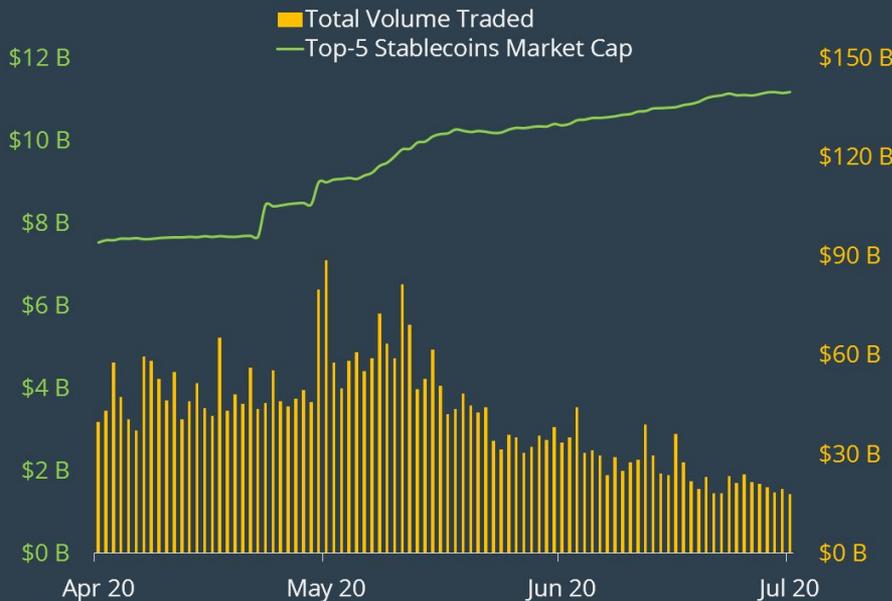
2020年第二四半期のトップ5ステーブルコインの時価総額

トップ5ステーブルコインの増加傾向は続いており、新たに**\$3.65B (+48.3%)**を供給し、第二四半期の間に総供給量は\$11.2Bにまで上昇した。

第二四半期中の増加の大部分はetherが占め**+\$3.38B (+54.0%)**、USDCがそれに続く**+\$293M (+42.0%)**。

供給量の増加にも関わらず、取引高は縮小傾向にある。その要因は、投資家がステーブルコインを安全資産又はステーキング/DeFiなどの非トレード用途で利用しているからだと考えられる。

### 2020年第二四半期のトップ5ステーブルコイン概観



### 2020年第二四半期の供給量 (2020年第一四半期との変化率)

 **\$9.64B**  
USDT **+\$3.38B (+54.0%)**

 **\$0.99B**  
USDC **+\$293M (+42.0%)**

 **\$241M**  
PAX **-\$6.2M (-2.5%)**

 **\$175M**  
BUSD **-\$23M (-11.7%)**

 **\$140M**  
TUSD **+\$3.6M (+2.6%)**

トップ5のステーブルコインの時価総額は2020年7月1日時点のCoinGecko上のデータを参照  
ステーブルコインに関する最新の統計データは[coingecko.com/en/stablecoins](https://www.coingecko.com/en/stablecoins)まで。

## トップ5ステーブルコインの流通速度 (Velocity)

ビットコイン価格が安定すると、ステーブルコインの流通速度は下落する

流通速度(Velocity) = 取引高 / 時価総額。

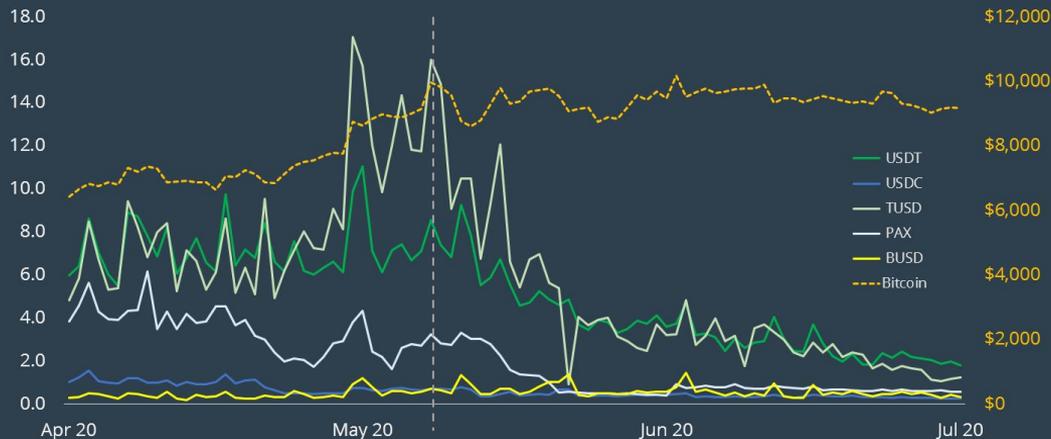
流通速度は、あるステーブルコインがその時価総額に対してどれだけ取引されているかを測る指標として用いられる。

4月から5月中旬にかけて大半のステーブルコインの流通速度は著しく増加した。

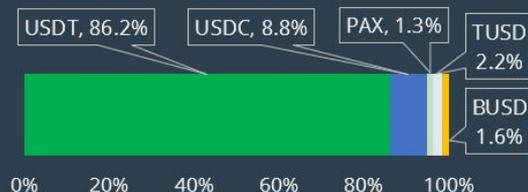
つまり、ビットコイン価格が上昇するとトレーダーによるアービトラージ需要が増え、ステーブルコインの供給量が増加する。

5月中旬以降、ビットコイン価格は安定しており、同時にステーブルコインの流通速度は下落している。この事実は一時的なトレードから長期保有 (HODL-ing) というトレンドの変化を表している。

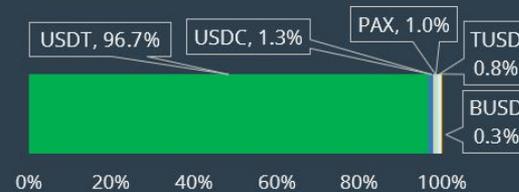
ステーブルコインの流通速度vs ビットコイン価格



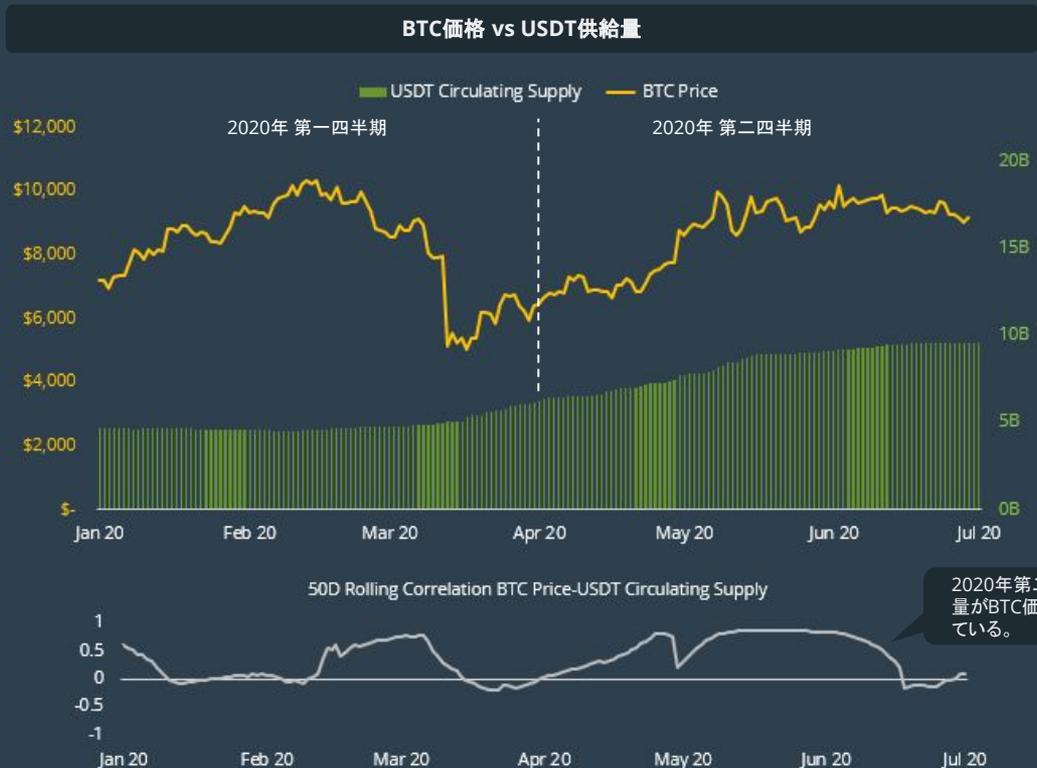
時価総額のシェア%



取引高のシェア%



## 2020年第二四半期、USDTの時価総額は12億ドル上昇し、かつビットコイン価格と強く相関している



2020年前半の6ヶ月間で、USDTの総供給量は47億から96億と、**100%以上の増加**を見せた。

2020年第二四半期は特に、USDTの発行量はビットコイン価格と**強い正の相関関係**を示している。

USDTは現物及びデリバティブ取引において最も人気の取引ペアである。現物取引の減少にも関わらず、第二四半期のUSDTは継続的な成長を続けた。これは、中国ロシア間の輸出入トレードでの利用増加を要因としている可能性がある。

2020年第二四半期、USDTの発行量がBTC価格と強い正の相関を示している。



# 乞うご期待！

第二四半期レポート**PART 2**は近日中に公開されます

